

厚生労働省北海道労働局発表
平成27年6月17日

【担当】

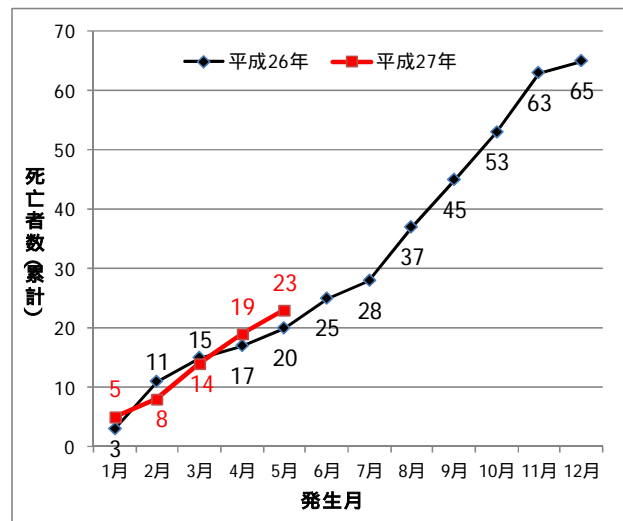
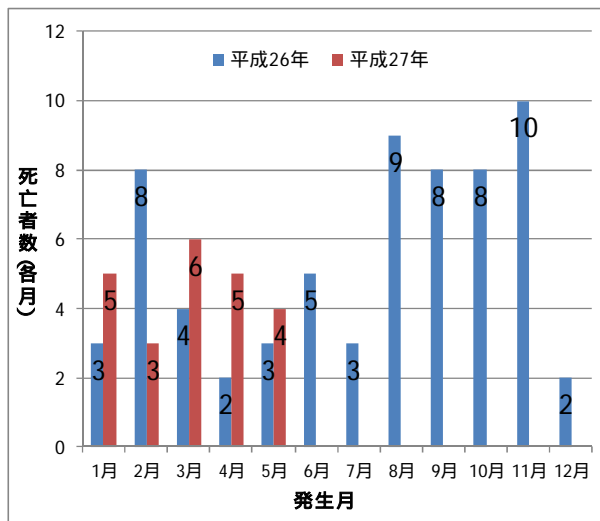
北海道労働局労働基準部安全課
安全課長 山谷 幸雄
主任安全専門官 大森 聡
安全専門官 渡邊 哲也
電話：011-709-2311(内 3551・3557)
F A X : 011-756-0056

死亡災害は3件増加、死傷災害は1.8%減少

- 北海道内の労働災害発生状況（平成27年5月末現在速報値） -

1 労働災害による死亡者数（1月～5月）

道内の労働災害による死亡者は、平成27年5月末現在で23件と、前年同期と比べ3件の増加となっています。



（1）業種別の状況

業種別に見ると、「建設業」が8人（全体の34.8%、前年同期比3人増）と最も多く、「製造業」「林業」「商業」が2人（全体の8.7%、「製造業」「林業」「商業」とも前年同期と同数）、「陸上貨物運送事業」「港湾運送業」等が各1人の順となっています。

（2）事故の型別の状況

災害を事故の型別で見ると、「墜落・転落」が6人（全体の26.1%）と最も多く、次いで、「交通事故（道路）」が5人（全体の21.7%）と続き、「はさまれ・巻き込まれ」が4人（全体の17.4%）と、この3種類の災害で全体の65.2%を占めています。

2 労働災害による死傷者数（1月～5月）

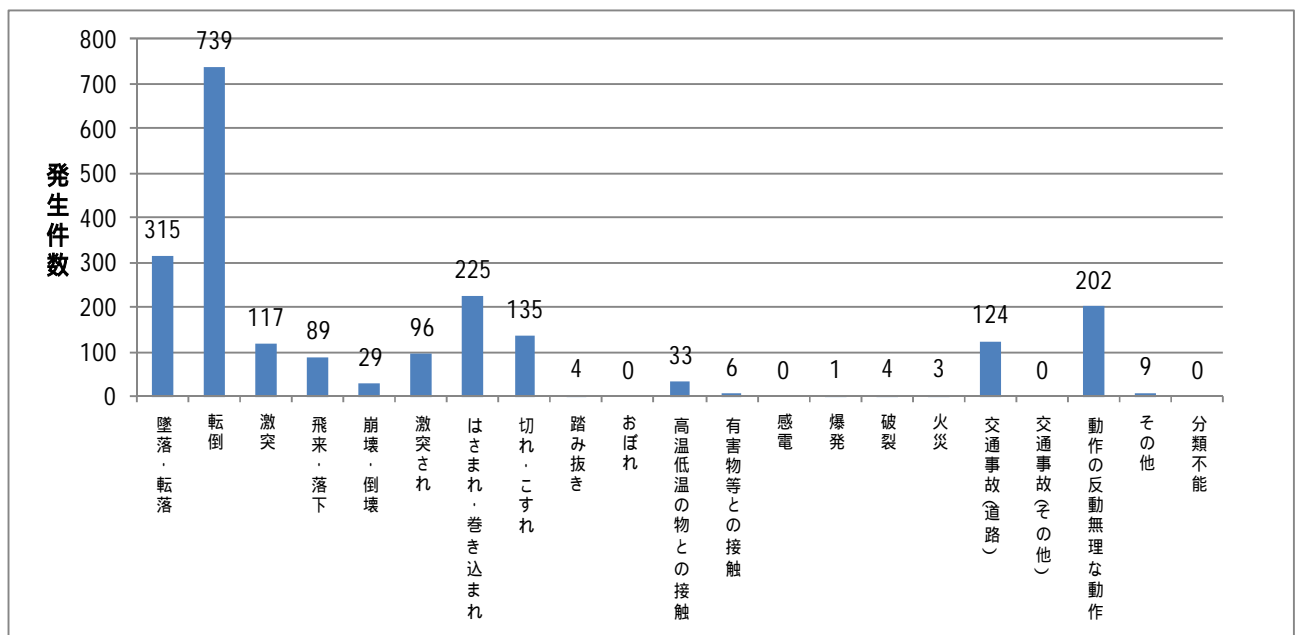
道内の労働災害による休業4日以上死傷者は、平成27年5月末現在で、2,131人と、前年同期比38人（1.8%）の減少となっています。

（1）業種別の状況

業種別に見ると、「製造業」が391人（全体の18.3%、前年同期比35人増）と最も多く、次いで「商業」が362人（全体の17.0%、前年同期比6人増）、「陸上貨物運送事業」が271人（全体の12.7%、前年同期比35人減）、「建設業」が263人（全体の12.3%、前年比23人減）の順となっています。

（2）事故の型別の状況

災害を事故の型別で見ると、「転倒」が739人（全体の34.7%）と最も多く、次いで「墜落・転落」が315人（全体の14.8%）、「はさまれ、巻き込まれ」が225人（全体の10.6%）、「動作の反動・無理な動作」が202人（全体の9.5%）となっています。



3 北海道労働局の対応

（1）北海道労働局では、第88回全国安全週間準備月間（6月1日～6月30日）及び本週間（7月1日～7月7日）を迎えるにあたり、関係労働災害防止団体等と連携し、死亡災害の撲滅及び死傷災害の減少に向けて、事業場の積極的な自主的労働災害防止活動の取組みを要請しております。

7月6日には、安全衛生活動が特に優秀である事業場や長年にわたり地域の安全衛生水準の向上発展に貢献した個人に対し表彰を行うこととしています。

（2）これから暑い季節を迎えるに当たり、職場における熱中症防止対策を進めています。

【添付資料】

- 1 業種別労働災害発生状況
- 2 署別・業種別災害発生状況
- 3 平成27年における死亡災害発生状況[速報]
- 4 平成27年における死亡災害発生状況（その他の事業の内訳）
- 5 平成27年 業種別・事故の型別・起因物別死亡災害発生状況
（リーフレット）「第88回全国安全週間」
「職場の熱中症対策は万全ですか？」